

読谷村フェイスシート



沖縄県 読谷村

平成 11 年 4 月 1 日
読谷村役場企画分権推進課

はじめに

読谷村は、沖縄本島の中部、西海岸に位置し、東シナ海にカギ状に突き出た半島で人口3万6千人余りの村です。

東には、緑濃い山並み、西は東シナ海に面し、南は「比謝川」を境とし、北は景勝の地「残波岬」に囲まれた、美しい自然と豊かな伝統文化に育まれたところです。記録によると、かつて読谷の青年「泰期」は、1372年琉球王の命により中国（明）へ進貢貿易船を出し、その後4回にわたって交易を行い、大交易時代を切り開いたと言われています。

その頃は、長浜港を外来文化の入り口として栄え、外来文化を進んで取り入れ、琉球の進運に大きな影響を与えています。それらは今日、読谷山花織・焼物などの伝統工芸品や、村内各地に残る民俗芸能として伝承され、読谷の大地に深く根ざしております。

また、沖縄の三味線の始祖と讃えられている「赤犬子」が祭られており、そのゆかりの地として子供から大人まで琉球古典音楽や島唄が盛んです。

私たち読谷村民は「読谷」をこよなく愛し、この土地の自然や風土、歴史と文化を守り生かして参りました。それは、村民にとって自信と勇気、夢と誇りであり村民の生活の中に脈々として生き、様々な村づくりの実践の中で発揮されております。

読谷村は、「恒久平和」「自主自立」「共生持続」を村づくりの基本理念とし、「ゆたさある風水、優る肝心、咲き誇る文化や、村の指針」を村づくりの目標に主体的創造的に進めているところです。



残波岬灯台



座喜味城跡



進貢船

村づくりの目標

(第三次総合計画 平成 10 年 6 月～平成 20 年 3 月)

基本理念

恒久平和・自主自立・共生持続

あるべき姿

ゆたさある風水 優る肝心

地域将来像

咲き誇る文化や 村の指針

飛鳳花蔓黄金環



飛鳳花蔓黄金環

読谷村は残波岬を頭として東シナ海に飛び立つ鳳である。読谷岳から多幸山をへて座喜味城にいたる山並みは、飛翔の風をはらむ羽である。

鳳はサンゴの花蔓を引き、海の花畑でニライカナイから来訪する嘉利吉を迎える。この嘉利吉を、座喜味グスクを頂きとする黄金環で受け止める。

座喜味グスクは風を宿す腰当であり、大路のカジマヤーでは、人・物・文化が結ばれる。そして西に賑いをおき、東を肅として山裾を養い長田川の恵みを活かし、過ぎたるを流す。

読谷村の将来地域像

21世紀は、地球的視野に立った、自然と共に生きる安定した地域社会建設の時代です。沖縄には、自然と人とを結ぶ地域社会的な意識、フンシ（風水）が生きています。この中に織り込まれている自然との調和力を未来へと投射し、読谷村の地形形象を基本に将来像を「飛鳳花蔓黄金環」としました。

表紙 「ゆんたんざ鳳」について

読谷村の地形は東シナ海へまさに飛び立とうとする瞬間の鳥の形に似ています。嘴には珊瑚の花蔓を咥え、東の山々は飛翔する力を蓄えた羽であるとし読谷村民の夢と希望を抱き 21 世紀へ羽ばたく鳳として表現しています。表紙のイラストは、読谷村のまちづくりの将来像を、版画家名嘉睦氏によりデザインしていただいたものです。



昭和 51 年 12 月 24 日制定、「よ」「み」をつなぎ村民の協力を表し、羽形は村の飛躍を表す。外円は村民の融和、団結の力で囲まれた空白はその豊かさと発展を象徴する。

村 章

1 役場所在地

〒904-0392 読谷村字座喜味2901番地 TEL 098-982-9200 FAX 098-982-9202
公式ホームページ <http://www.vill.yomitan.okinawa.jp>

2 位 置

読谷村は沖縄本島中部の西側にあつて東シナ海に面し、県都那覇市より北に28kmに位置する。北は恩納村、東は沖縄市、南は嘉手納町に隣接しています。村域は東シナ海に突き出た半島状の形状をなし、沖縄本島の幹線道路である国道58号線が本村を縦断しています。

3 面 積

面積は35.17 k m² (3,517ha)で、県下18番名の大きさです。

4 地 勢

東は海拔200mの読谷岳を頂点に南に概ね緩やかな丘陵傾斜地となり、西は130mの座喜味城跡を頂点にカルスト台地が広がり、段丘をもって海岸へ続いています。村の中心部で東西約5.7km 南北約5.8kmです。

5 村花・村木

昭和 61 年 4 月制定



村花 ブーゲンビレア

情熱・明るさ・繁栄の象徴を表している。ブラジル原産のツル性花卉。日当たりがよく、水はけのよい土地を好み、栽培も挿し木で増やせる。一年を通して色どりの花を咲かせてくれる。



村木 イヌマキ(方言名 チャーギ)

沖縄では、「チャーギ」と呼び、堅固・平和・無限の発展を表している。雌雄異株で高さ20mくらいに達する常緑樹。沖縄各地で栽培可能である。葉は革質で枝のまわりに密生し、材質は固く美しい。沖縄の重要な造林樹種でもある。

6 沿革

時 期	事 項
1372年	沖縄（琉球）から初の中国（明）への朝貢貿易船（読谷村宇座の泰期を使わず。）
1442年頃	読谷山按司護佐丸が座喜味城を築城。
1897年 明治30年	「間切長」制
1899年 明治32年	沖縄県土地整理法の施行により、現在の集落を基本とした村の形態が整う。
1908年 明治41年	読谷山村に改称、村制へ移行
1943年～44年	旧日本軍により、読谷飛行場が接收される。
1945年 昭和20年	米軍の沖縄上陸と同時に占領。
1946年 昭和21年	8月に波平と高志保の一部に居住許可。600人余の村民による「読谷山建設隊」が編成され、村の再建に着手。12月に村名を「読谷村」に変更。村役場を喜名（間切番所）から波平へ移転。
1972年 昭和47年	日本復帰
1973年	座喜味城跡公園整備開始
1975年	読谷村立歴史民俗資料館開館
1976年	読谷救護園開設、ポーローポイント地積調査。土地改良事業着手。
1977年	村立診療所開設。都屋の里開設
1978年	運動広場開設。ヤチムンの里共同登り窯を建設。渡具知復帰先地公共施設整備事業開始。長浜ダム関連事業申請。
1979年	総合福祉センター開設
1980年～81年	古堅土地区画整理事業着手。勤労者体育センター開設。残波岬公園整備開始。伝統工芸センター開設。宇座復帰先地整備事業開始。
1983年～84年	儀間復帰先地公共施設整備事業開始。読谷村平和の森球場整備開始。
1985年～86年	農村婦人の家、喜名移転先地公共施設整備事業開始。読谷村多目的広場開設。
1990年～97年	美術館開設。陶芸研修所開設。単独公共下水道楚辺地区供用開始。役場新庁舎を読谷飛行場へ建設

- 1975年(昭和50年 月) 沖縄タイムス社「自治賞」受賞
 1984年(昭和59年 11月) 「潤いのあるまちづくり」自治大臣賞受賞
 1987年(昭和62年 11月) 「農村アメニティコンクール」座喜味地区＝国土庁長官賞受賞
 1989年(平成元年 12月) (財)神戸都市問題研究所「宮崎賞」受賞
 1995年(平成7年 11月) 「豊かなむらづくり部門」渡具知区＝農林水産大臣賞受賞
 1997年(平成9年 4月) 「全国みどりの愛護功労」座喜味区＝建設大臣賞受賞
 1998年(平成10年 4月) 「全国みどりの愛護功労」大木区＝建設大臣賞受賞

7 人口動態

昭和45年の本村の人口は21,410人であった。昭和55年から平成7年までの15年間における5カ年毎の人口増加率は平均約8%で、毎年300人程度の自然増と100人前後の社会増があり、安定した人口増加が続いています。

平成9年3月末現在の人口は県下第10位、全国の村人口では豊見城村（沖縄県）、滝沢村（岩手県）に次いで全国第3位となっています。

平成7年10月

	S45	S50	S55	S60	H2	H7
人口	21,410	24,232	26,516	28,536	30,750	32,912
増加率	-	13.2	9.4	7.6	7.8	7.0
世帯数	4,302	5,185	6,073	6,890	8,045	8,965

資料：国勢調査

人口

平成11年3月31日現在

人口（人）	36,242	男(18,078)	女(18,164)
世帯数	10,728		
人口密度（人）	10,030	（1人 / k m ² ）	
出生（人）	501	出生率（%）	1.3
死亡（人）	207	死亡率（%）	0.6
転入（人）	1,625		
転出（人）	1,407		
人口増減（人）	493	前年比（%）	1.4
高齢者（人）	4,357	高齢者率（%）	12.0
若年者（人）	7,948	若年者率（%）	21.9

資料：住民基本台帳

有権者

平成9年9月2日現在

男	女	合計
12,187	12,575	24,762

8 土地利用

読谷村の土地利用の特徴は、村の全面積3,517haのうち、米軍用地が 1,649ha（約47%）を占めていることです。

平成9年度地目別土地利用面積では、昭和55年に比べ、農地が217.4ha、宅地が159.4ha増加し、森林・原野は351ha減少しています。

地目	面積ha	構成比%
農用地	1,107.4	31.5
森林	1,254.6	35.7
宅地	431.4	12.3
その他	723.6	20.6
合計	3,517	100%

資料：農村総合整備計画

沖縄振興開発特別措置法に基づく工業開発地区 村全域 S50.4指定
工場立地法に基づく工場適地 伊良皆地区 217,614m² S48.3.31指定

施設名	施設面積	管理部隊
瀬名波通信施設	61	空軍第313航空師団
楚辺通信所	54	在沖艦隊活動司令部
読谷補助飛行場	191	在沖海兵隊基地司令部
嘉手納弾薬庫地区	1,145	空軍第18航空団
トリイ通信施設	198	陸軍第10地域司援軍
合計	1,649ha	

都市計画（コザ広域都市計画区域 s47.5.12）

用途地域	面積 ha	構成比%
第1種低層住居専用地域	276.3	70.7
第1種中高層住居専用地域	41.8	10.7
第2種中高層住居専用地域	6.4	1.6
第1種住居専用地域	10.0	2.6
第2種住居専用地域	7.0	1.8
準住居地域	11.5	2.9
近隣商業地域	16.0	4.1
準工業地域	22.0	5.6
合計	391.0	100%

用途地域指定 s50.5.15
見直し s61.6.13
切り替え h8.4.1

平成8年4月

資料：都市基本計画

農業振興地域

平成11年1月

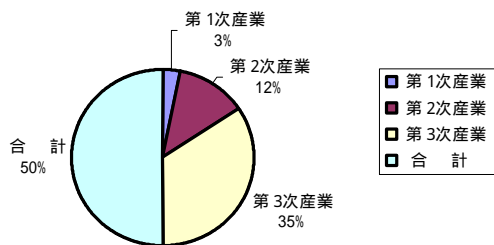
地 目	面 積 ha	構 成 比%
農 用 地	462	38
農業施設用地	12	1
森林原野	279	23
住宅用地	205	17
工業用地	12	1
そ の 他	252	20
農業振興地域	1,222	100%

資料：農業振興地域整備計画

9 産 業

本村の産業は、就業人口で見ると沖縄県同様に第3次産業の比率の高い都市型産業構成が特徴です。

平成2年から平成7年の就業者の推移を見ると第1次産業が - 1.7%、第2次産業が + 0.1%、第3次産業は + 1.6%となっています。

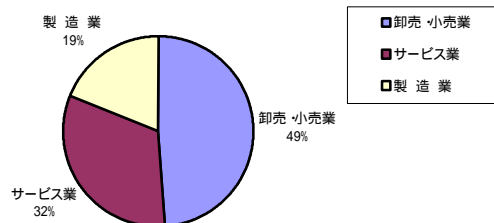


産業別就業人口

平成7年10月

種 別	人	構 成 比 %
第1次産業	820	6
第2次産業	3,391	25
第3次産業	9,418	69
合 計	13,638	100

資料：国勢調査



産業別事業所数

平成8年10月1日

順位	種 別	事 業 所 数
1	卸売・小売業	506
2	サービス業	334
3	製 造 業	194

10 主要産物

農業生産基盤整備が進み主要作物としては、サトウキビ、紅イモ、花卉、メロンなどが生産されています。また、ヤチムン（陶器）、読谷山花織は村の特産品で伝統工芸センターや陶芸研修所等を整備し伝統工芸の振興にも力を入れています。



主要農産物

平成9年度

順位	品 目	出荷額（百万）
1 位	キ ク	981
2 位	サトウキビ	300
3 位	養 豚	230

資料：読谷村統計書

共同販売センターにおける売上

平成8年度

工 芸 品	売上実績（千円）
ヤチムン（陶器）	33,774
読谷山花織	2,129
ガラス（琉球泡ガラス）	3,084

資料：読谷村統計書

11 教 育

平成10年5月1日現在（ ）は生徒数

幼稚園	公立 5 園	読谷幼稚園・渡慶次幼稚園・喜名幼稚園・古堅幼稚園 古堅南幼稚園
小学校	5 校	読谷小学校(736)・渡慶次小学校(514)・喜名小学校(491) 古堅小学校(762)・古堅南小学校(693)
中学校	2 校	読谷中学校(855)・古堅中学校(780)

資料：読谷村統計書

12 医 療

平成 9 年 3 月（ ）は病床数

区 分	病 院	一般診療所	歯科診療所
村 立	0	1 (3)	0
公設以外	0	3	9

資料：読谷村統計書

13 主要施設等

主要施設

平成 11 年 3 月現在

施設名	建設年度(開設)	場所	電話番号
火葬場	昭和 34 年 8 月	波平 2358	956-1809
中央公民館	昭和 45 年 6 月	波平 37	958-3113
歴史民俗資料館	昭和 50 年 5 月	座喜味 708	958-3141
診療所	昭和 52 年 8 月	都屋 179	956-1151
総合運動広場	昭和 53 年 11 月	座喜味 2976	
ヤチムンの里	昭和 55 年 7 月	座喜味 2653-1	958-4468
総合福祉センター	昭和 55 年 9 月	座喜味 2975	958-2939
勤労者体育センター	昭和 56 年 7 月	座喜味 2957	958-4472
伝統工芸センター	昭和 56 年 11 月	座喜味 2974-2	958-4674
商工会館	昭和 57 年 3 月	楚辺 2187	956-4011
共同販売センター	昭和 58 年 8 月	座喜味 2723-1	958-1020
残波岬憩いの広場	昭和 58 年 11 月	宇座 1861	958-0038
楚辺花織工房	昭和 59 年 3 月	楚辺 2274	956-5824
農産物直売施設	昭和 59 年 3 月		
座喜味花織工房	昭和 60 年 3 月	座喜味 163	958-4717
一般廃棄物最終処分場	昭和 60 年 3 月	儀間	
座喜味城跡復元	昭和 61 年 3 月	座喜味城跡公園	
村営古堅団地	昭和 61 年 3 月	古堅 76-2	
残波大獅子	昭和 61 年 4 月	残波岬公園内	
農村婦人の家	昭和 61 年 4 月	都屋 167-2	956-9074
波平花織工房	昭和 62 年 3 月	上地 410-2	958-4463
多目的広場	昭和 62 年 5 月	座喜味 2901	
平和の森球場	昭和 62 年 5 月	座喜味 2901	958-4969
村営瀬名波団地	平成元年 3 月	瀬名波 531-4	
美術館	平成 2 年 3 月	座喜味 708-4	958-2254
農産物集出荷施設	平成 3 年 3 月	儀間 874	958-4154
村営喜名団地	平成 4 年 3 月	伊良皆 697	
屋外スタンド	平成 4 年 3 月	総合運動広場内	
生き生き健康センター	平成 5 年 6 月	都屋 167-2	957-3366
陶芸研修所	平成 6 年 3 月	座喜味 2653-1	958-6517
長浜ダム	平成 7 年 12 月	長浜地内	958-6716
楚辺浄化センター	平成 8 年 3 月	楚辺 1901	956-6624
役場新庁舎	平成 9 年 3 月	座喜味 2901	982-9200
文化センター	平成 11 年 月	座喜味	
残波岬公園		宇座地内	
座喜味城跡公園		座喜味地内	
診療所老人デイケア施設	平成 11 年 3 月	都屋 179	
泊城公園	平成 11 年 3 月	渡具知地内	

14 文化財等

史 跡

国指定史跡 座喜味城跡

場所： 座喜味 城原

指定年月： 昭和 47 年 5 月

説明： 1422 年頃読谷山の「按司」であった
護佐丸が尚巴志の命により築城



国指定史跡 木綿原遺跡

場所： 渡具知 木綿原

指定年月： 昭和 53 年 11 月

説明： 今からおよそ 2,200 年前の「箱式石棺墓」が出土



史 跡 赤犬子宮

場所： 楚辺 赤犬子原

説明： 第二尚氏王統、尚真王代にオモロ
歌唱の名人とされるアカインコ終焉の地



史 跡 喜名番所跡

場所： 喜名 喜名原

説明： 1820 年頃首里から国頭方面への街道が喜名村に開通し、座喜味城内にあっ
た読谷山番所が喜名に移され「喜名番所」と呼ばれた。

文化財

国認定「重要無形文化財」 読谷壺屋焼 金城次郎
認定年月： 昭和60年4月



国認定「重要無形文化財」 読谷山花織 与那嶺貞
認定年月： 平成11年5月



沖縄県認定「無形文化財技能保持者」 読谷山花織
島袋秀 島袋恵美子 池原ケイ子 比嘉マサ子
認定年月： 平成元年9月

沖縄県認定「無形文化財保持者」 芸能（野村流三味線）
安田慶善
認定年月： 平成11年3月



工芸品

通産大臣指定「伝統工芸品」 読谷山花織
指定年月： 昭和51年6月

名工



労働省指定「現代の名工」 琉球ガラス 稲嶺盛吉
指定年月： 平成6年11月

16 平和行政

1982年 6月 5日	非核宣言（読谷村役場・読谷村議会）
1988年 12月 ~	第1回読谷村平和創造展の開催
1989年 3月 31日	ノーベル平和賞を夢見る村民基金創設
1991年 3月 29日	平和行政の基本に関する条例制定
1995年 3月 30日	不戦宣言（読谷村役場・読谷村議会）

17 行政計画

第3次総合計画基本構想	1998年～2007年
同前期基本計画	1998年～2002年

主要プロジェクト

- ・読谷飛行場転用事業の推進
- ・村民センター地区整備事業
- ・比謝川沿岸整備事業
- ・大木地区土地区画整理事業
- ・農村総合整備事業

18 行政等の組織

村三役（平成11年1月末現在）

村 長	安田慶造(ヤスダケイゾウ)	任期 H14.3.1
助 役	松田重信(マツダシゲノブ)	任期 H14.11.3
収入役	桃原英夫(トウバルヒデオ)	任期 H14.11.3

議会（平成11年1月末現在）

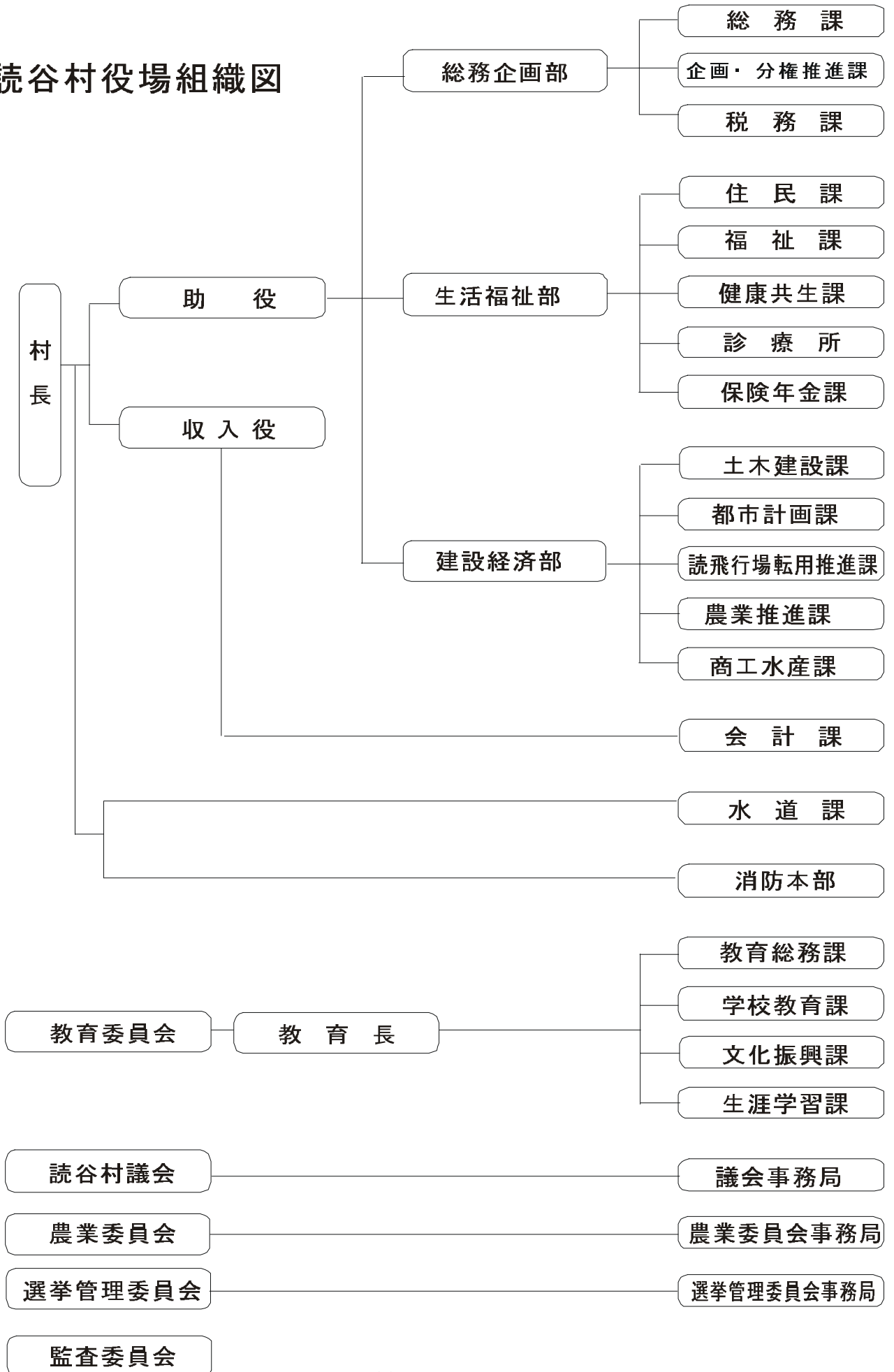
議 長	儀保輝和(ギボテルカズ)	任期 H14.9.27
副議長	當山眞市(トウヤマシンイチ)	任期 H14.9.27
議 員	法定定数 30 条例定数 22	
党派別内訳	共産3、公明1、自民1、無所属17	

職員数（平成11年1月末現在）

区 分	職員数	人口千人当り職員数
本 庁	141	4.03
支所・出張所	32	0.91
施 設	110	3.14
合 計	283	8.09

平成9年度職員実数 283人 ラス指数 100.1

読谷村役場組織図



19 財 政

平成 9 年度決算 (1)決算収支

(百万円 %)

区 分	歳入総額	歳出総額	形式収支	実質収支	実質収支 比率	積立金	基金取崩し	実質単年 度収支
H7	9,821	8,879	943	403	8.4	133	113	153
H8	11,405	10,943	463	409	8.3	249	150	105
H9	10,697	9,811	886	424	7.9	548	250	313

(2)主要指標

区 分	H7	H8	H9	順位	県平均	町村平均
財政力指数	0.367	0.383	0.379	15	0.257	0.214
標準財政規模 a	4,825	4,932	5,358	11	4.921	2.483
經常収支比率	72.1	76.2	73.7	5	83.3	82.2
人件費	36.7	38.2	36.4	25	36.9	36.5
扶助費	4.1	4.3	4.2	34	0.9	2.6
公債費	7.3	7.8	7.8	3	16.4	15.9
物件費	13.0	13.1	13.9	39	11.9	11.9
その他	11.0	12.7	11.4	21	17.2	15.3
公債費率	8.2	8.5	8.5	8	13.1	12.0
起債制限比率	6.6	6.4	6.3	8	10.3	9.4
税徴収比率	82.9	82.2	81.6	38	86.0	85.0
現年度分	93.8	94.2	93.9	38	95.1	94.9
滞納分	21.8	18.9	14.3	36	21.1	16.3
債務負担行為額 b	328	1,145	471	45	389	166
b/a %	6.8	23.2	8.8	43	7.9	6.7
地方債現在高 c	3,220	4,410	4,927	35	16,150	3,756
c/a %	66.7	89.4	92.0	2	175.6	151.2
積立金現在高	2,474	2,013	2,512	8	1,536	1,132
財政調整基金	561	660	958	4	311	233
減債基金	221	237	500	3	149	137
その他特別基金	1,692	1,116	1,054	17	1,076	762

(3)歳入歳出の状況

区 分	金 額	構 成
地 方 税	1,926	18.0
地方譲与税	122	1.1
地方交付税	3,168	29.6
国庫支出金	1,560	14.6
県支出金	530	5.0
地 方 債	820	7.7
そ の 他	2,571	24.0
歳入総額	10,697	100.0
人 件 費	2,432	24.8
物 件 費	1,405	14.3
補 助 費	512	5.2
公 債 費	483	4.9
ふ つ う	2,416	24.6
補 助	1,407	14.3
単 独	1,009	10.3
その他	2,563	26.2
歳出総額	9,811	100.0

村民 1 人当たりの税負担額	53,878
自 主 財 源 比 率	38.4

(4)基地関係収入

区 分	金 額	比 率
基地交付金	65	4.9
調整交付金	171	12.9
環境整備	529	40.1
そ の 他	556	42.1
合 計	1,321	100.0

(5)公営企業などに対する繰り出し状況

区 分	H8	H9
国民健康保険事業	300	301
老人保険事業	129	148
法非適用 下水道事業	126	123
法適用 上水道事業	7	5